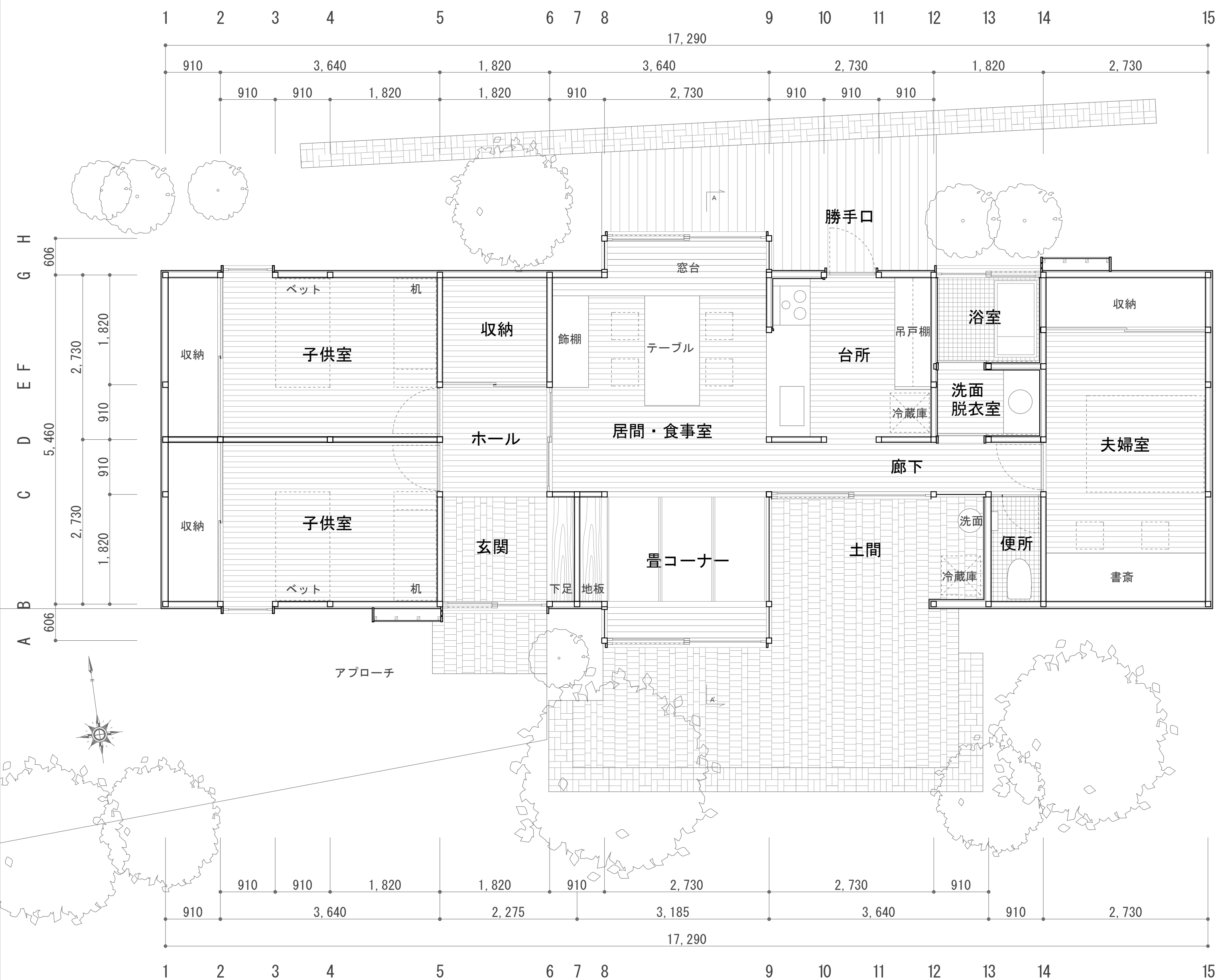


大黒梁の家

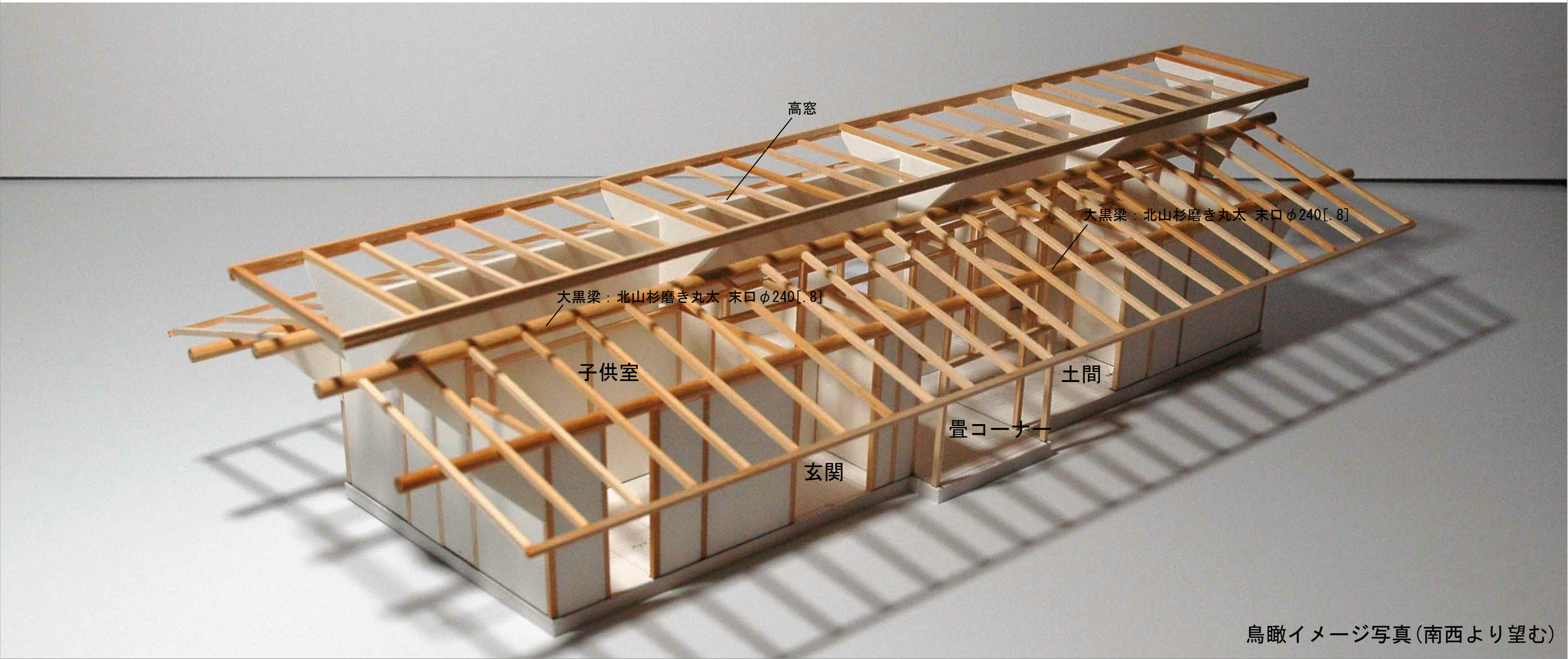


平面図 S=1 : 50

設計コンセプト

古き木造建築の構造的、精神的なシンボルであるともいえる「大国柱」。この案は、「柱」ではなく「梁」を家のシンボルの構造材と位置づけ、「大国柱」改め「大国梁」として、長く連続した梁を建物の中心に添えた計画です。

大国梁には、末口φ240[.8]の北山杉磨き丸太を使用し、長手方向に4本を連続させ、小屋組の核を形成しています。



鳥瞰イメージ写真(南西より望む)

大黒梁の家



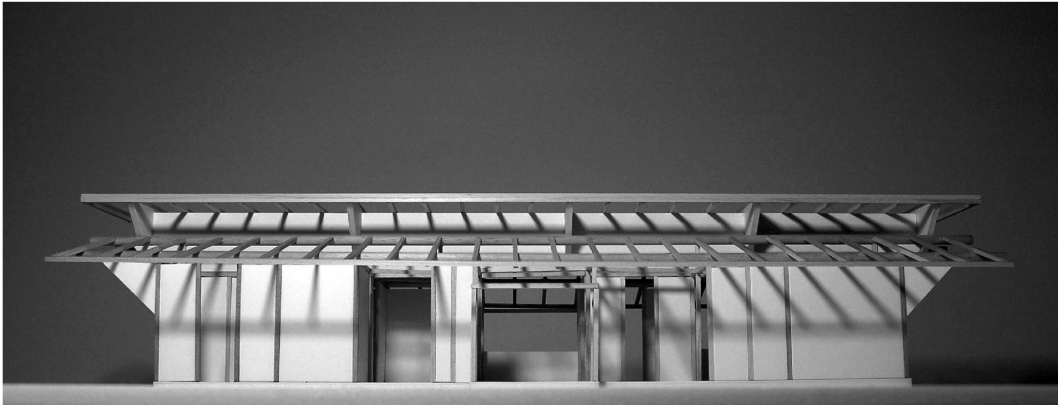
梁伏(上レベル)



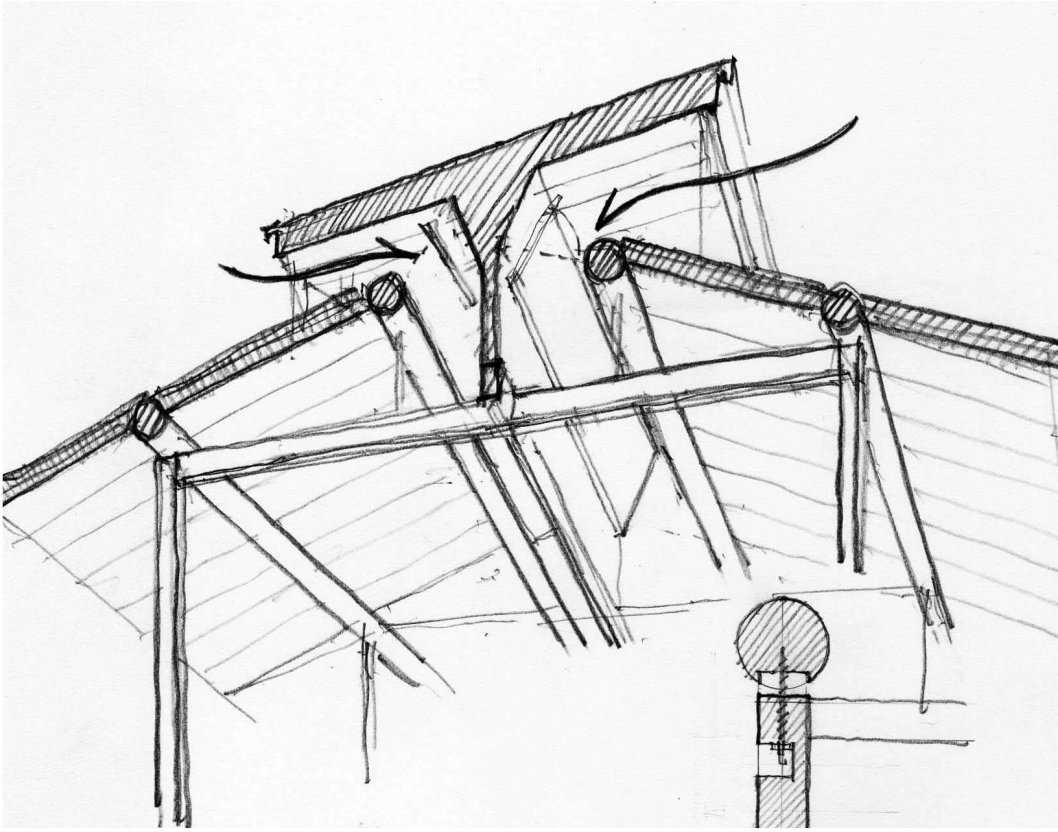
梁伏(下レベル)



外観イメージ写真(南西より望む)



外観イメージ写真(南より望む)



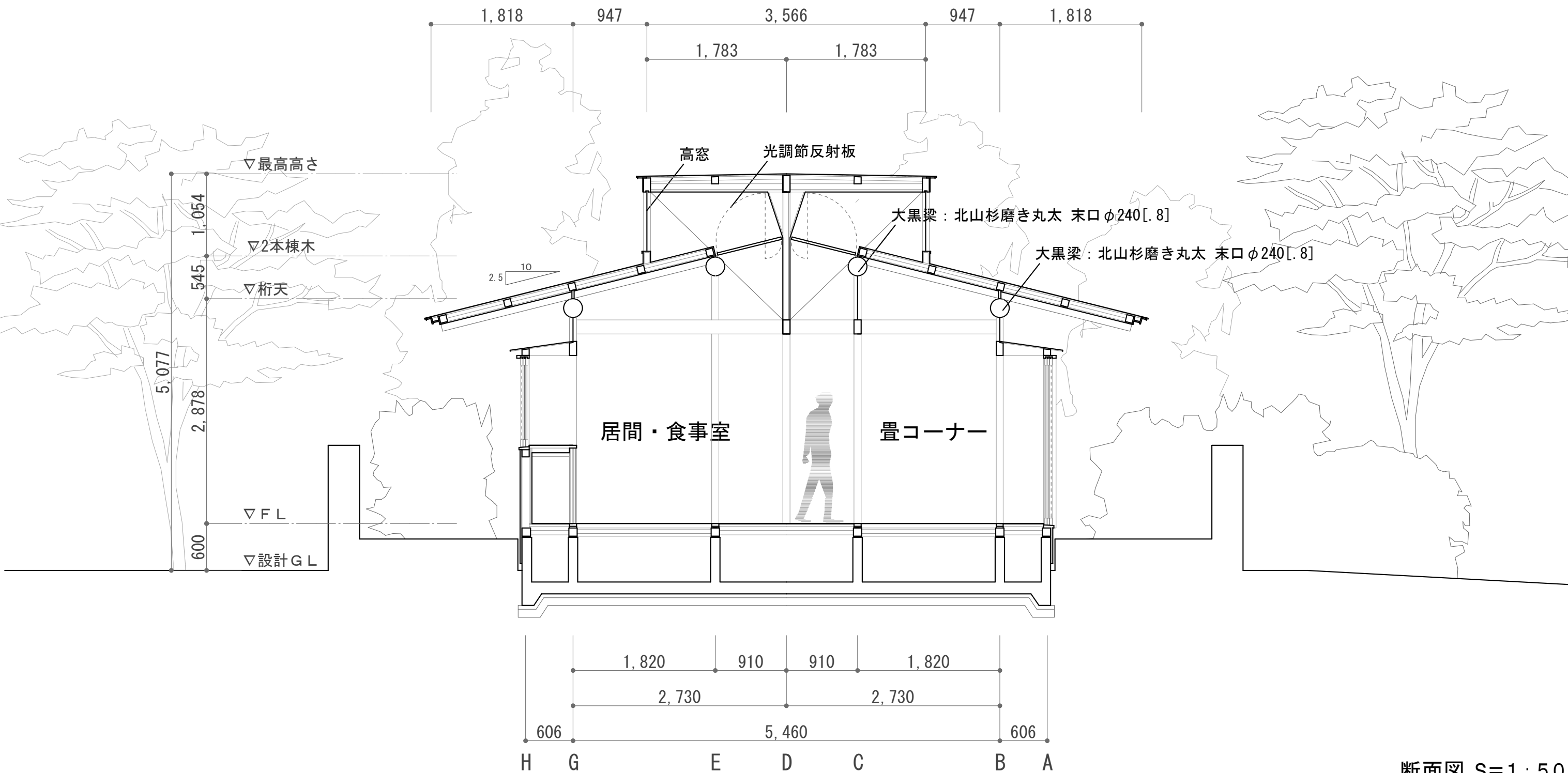
内観イメージスケッチ(見上げ)



北山杉磨き丸太 イメージ

仕様概要書

- 主体構造：木造軸組工法
- 基礎：ベタ基礎
- 主要仕上材料
- 外部（屋根）：ガルバリウム鋼板 縦葺き
アスファルトルーフィング
- 外部（外壁）：スギ板t15横羽目貼 木材保護塗料2回塗
- 開口部：木製建具
- 内部（壁）：スギ板t15貼、一部ビニールクロス貼
- 内部（床）：ヒノキ縁甲板t15貼 ワックス仕上
- 各面積
- 建築面積：97.71㎡（約30.29坪）
- 延床面積：92.74㎡（約28.74坪）



断面図 S=1:50